

創立80周年 記念式典及び祝賀会を開催



一般社団法人
日本善行会

〒100-0006
東京都千代田区有楽町
2-10-1 東京交通会館内
TEL (03) 3212-6996
FAX (03) 3212-6998
URL: http://www.zenkoukai.or.jp
メール: info@zenkoukai.or.jp

毎月1日発行
編集発行人 相澤 克也

善行は、社会を
照らすともしび。



式典

創立八十周年を 迎えました

日本善行会は、昭和十二年五月七日に発足して、今年で八十周年を迎えました。戦前戦後にわたるこの長い歳月に皆さまのお寄せくださった暖かい心からなるご支援、ご協力に對しまして、厚くお礼を申し上げます。思えば、八十年前、善行会は「善行」の灯をかかげ、明るい住みよい社会環境づくりを念願としてきました。

会長あいさつ



昭和十二年五月七日、善行会は、世の中に善行を広め、推し進めることを目指して発足しました。それから明るく住みよい社会を建設するために、社会の隅々で善行を重ねていく人々を探し出して顕彰する善行者の表彰と善行精神の普及、善行の実践活動に努めてきたのです。こうして同志を糾合して、日々努力を重ね、善行の旗を高く掲げて、社会全体の向上させることに取り組んできました。その後、社団法人となり、さらに「日本善行会」と改称し、法人制度の改革に應じて、現在の「一般社団法人

こと、この行つてゆこうという「実践」こそが、善行会設立以来の精神です。善意の灯をお互いの心に宿し燃やすなら、社会は必ず明るく住みよくなることを確信し、念願してやみません。

ともあれ、善行会が歩いてきた八十年の歴史は、容易ならぬ道の道でした。「いい仕事ですね」「やりましよう」と皆さまが言ってくださつても、このような仕事は百年後の結実をもつ地味なものではないです。けれどその遂行の至難であることを覚悟し、全力を傾け、誠意を尽くし、いつその努力を重ねていかねばならないと考えております。本会はこの節目の八十年の六月二十七日に三百名余の会員が参加し、創立八十周年記念式典及び祝賀会を

かつて長所とされた日本的な礼節、思いやりはどこに消えてしまったのでしょうか。また世界に眼を転ずれば、強国が自国の利益のみを追求する保護主義や、「なににファースト」が横行し、他国や他国民に対する配慮は影を潜めています。このような時代こそ、善行会が説く善行精神、他に対する思いやりが必要とされ、求められているのではないのでしょうか。

このことは、わが国の社会においてのみならず、国際社会においても同じことであろう。そうして、これをまずわが国社会で実現するためには、まずわれわれ一人一人が、先人達の努力を引き継いで、日常生活の中で、地道に善行精神を実践していくことが肝要であると思ひます。

創立八十周年を迎えるにあたって、このように感じる日本善行会の今後の一層の発展を心から祈念して、私のご挨拶といたします。

創立八十周年 記念式典

記念式典は、相澤副会長の司会の下、はじめに勝野副会長の開会の言葉で始まった。国家斉唱の後、善行実践に身を挺して来られた今は亡き数多くの諸先輩、友人に對し、謹んで哀悼の意を込めて黙禱を捧げさせて頂きました。続いて藤田会長が主催者あいさつを行った。次いで、山下常務理事から、御来賓の方々のご紹介と多くのよせられた祝電が披露された後、創立八十周年

創立八十周年 記念祝賀会

相澤副会長の司会の下、濱武常務理事の開宴ことばで祝賀会が開宴した。

藤田会長から挨拶があり、早乙女理事の乾杯の発声後、広澤孝美さんの歌とハーブの演奏、奈月れいさんのミニコンサート、三遊亭愛楽さんの落語と絶え間なく披露され、会員同士や表彰受賞者等との和やかな交流が続いた。

千葉県支部会員一同による千葉県支部の歌が三味線と共に披露され、芸能奉仕団の音頭で日本善行会の歌を参加者みんなで歌った。和やかな祝の宴もお時間の都合上最後に、黒澤常務理事の唱和で、全員が万歳三唱を行った。松本常務理事の開会のことばで祝賀会は終了した。



祝賀会



万歳三唱



善行会の歌 (芸能奉仕団)



乾杯 (祝賀会)

※本会は善行精神の普及と善行の実践を通して明るい住みよい社会環境づくりにつとめております。会員会費と個人・企業・地方公共団体からの賛助金により運営されております。広く会員を募集しております。